

令和3年度 さいたま市立土合小学校 学校関係者評価書

さいたま市立土合小学校

学校関係者評価委員長 中村 武人 

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 6名

(2) 実施回数 3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ・保護者アンケートは、ほぼすべての項目において、9割以上の肯定的な回答との結果は、大変高いといえる。さらに半数以上の項目が過去3年間の平均を上回るなど、本年度の学校教育活動の充実が伺える。
- ・児童アンケートは、約6割の設問で9割以上の肯定的な回答が得られたが、過去3年間の平均と比べて下回るものが多く残念であった。しかし、児童アンケートは、子どもの性格が結果に影響することもあることから、この結果をもってよくなかったではなく、分析する材料とするとよい。
- ・保護者アンケートと教職員のアンケートが合算となっている。分けることで、保護者と教職員との認識の差など、次年度の学校運営に生かせる材料が得られるのではないかと考える。
- ・保護者の自由記述についても、資料として見せてもらえるとありがたい。寄せられた意見を生かしていきたいと思う。
- ・経年変化をみるためにアンケート項目を変化させないことも大切ではあると思うが、コロナやICT等、時代の変化もあるため、項目を見直す必要もあるのではないかと考える。
- ・コロナ禍ではあるが、年間を通して学校に通えたことがよかった。また、学級閉鎖等もなく、コロナ対策もしっかりしていただきありがたかった。
- ・「個に応じた指導等」の回答については、昨年度より値が下がったとのことであるが、学校評価実施時期までに授業参観が1度も実施できていないということも要因として挙げられるのではないかと考える。3学期はTeamsで行うとのことなので、成果が得られることを期待している。
- ・一人一台のタブレット型コンピュータを活用した授業を管理職に公開する取り組みは大変素晴らしい。すべての先生がICTを普段使いできていることも素晴らしい。
- ・教員が足りていないとの報道が気になる。土合小でも一人欠員状態とのこと。市教育委員会も欠員が生じないよう努力してもらいたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・保護者の学校評価が高いことについては、地域、保護者のおかげである。次年度への励みとしたい。
- ・児童の学校評価については、全体の%だけではなく、クラスごと、学年ごと等、比較分析し、次年度実施の際の方策を立てていきたい。
- ・次年度は、保護者、教職員それぞれの学校評価の結果を示し、熟議できるようにしたい。
- ・保護者の記述についても、主たるものを資料として、提示できるようにしたい。
- ・学校評価の項目については、次年度新体制の中で検討していきたい。学校経営方針の手立てがどのように保護者の評価を得られているのか分かるような改善も図っていきたい。
- ・授業参観の実施方法については、2月末に実施するTeamsでの授業参観について、教職員、保護者の反応も確認しながら、コロナ禍での授業参観のあるべき姿を明確化していきたい。
- ・管理職への公開授業は、次年度も継続して行っていく。引き続き、教職員の良さをすることを主とし、個に応じて、適宜指導を行っていきたい。